

図書教材新報

Books
teaching
materials
magazine

Vol.246

今月の特集

- ①教材活用シリーズ 自然としっかり英語力が身についていく（P. 6～7）
- ②都道府県協会総会報告【3】（P. 8～9）
- ③都道府県協会の総会をふり返って（P. 10～12）

図書教材新報
Books teaching materials magazine

2025.10.25 Vol.246 (total 1875号)
1956年1月5日 創刊 毎月25日発行

我が国の教員の指導環境の現状と課題 —TALIS2024が示すもの—

一般社団法人日本図書教材協会監事
筑波大学人間系教授

清水 美憲

OECDは、去る10月7日の午前10時（シンガポール・同9時）に、国際教員指導環境調査（TALIS2024）の結果を、世界同時配信のウェビナーで公表した。当日、大学での授業時間がちょうどこの時間帯に重なったため、学生とともにウェビナーを視聴し、日本の教員を取り巻く指導環境の現状と課題について議論する機会とした。

OECDのTALISは、5年毎に実施される教員の勤務環境に関する大規模国際調査で、今回はコロナ禍のため1年遅れで実施され、55の国や教育システムが参加した。過去のTALIS2013では、教員の勤務時間について、参加国の平均値38時間に対し、日本は54時間で、29時間のイタリアやチリの2倍近い数値であることは判明し衝撃が走った。この知見は、現在の「働き方」改革推進のきっかけにもなった。

今回、シンガポール教育省を主会場に開催されたウェビナーでは、同国教育大臣の祝辞やOECDの武内良樹事務次長の挨拶の後、プロジェ

クト責任者であるリ・リュウチェン氏が調査結果を報告した。同氏は、自身が太平洋の島国・マーシャル諸島のマジュロ環礁にある高校の教員として勤務したことに触れ、当時は常に孤独を感じていたと語った。教員という職業はどの国にもあり、誰もが知る職業であるにも関わらず、教員は孤立して過ごしており、このTALISの結果はそんな教員の声であると強調された。

調査結果で目を引いたのは、世界的に教員が不足しており、日本の教員の勤務時間は前回調査に比べ短縮したものの、参加国中で最長ということであった。しかも、勤務時間の半分以上は、教える人（Teacher）が担う教室での指導以外に割かれているという結果であった。また、日本の30歳未満の若手教員は、ほぼ5人に1人の割合で、5年以内に教職から離れることを考えているというショッキングな結果も示された。令和6年8月27日の中教審答申に基づく教員の職務環境の改善が進む中、国際比較による今回の結果は、教育改革に一石を投じることになるであろう。



日第109回通常総会開催

新年度事業計画・予算案を決定

一般社団法人日本図書教材協会（辻村哲夫会長）では、9月25日に東京都・文京区の「東京ガーデンパレス」とオンラインで通常総会を開いた。新年度の事業計画・予算案を策定した。

総会では、2024年度の事業・決算報告と2025年度の事業計画・予算案が承認された。

新年度事業としては、教科書著作権協会とのルール改定周知、学校用教材の著作権に関する活動、学校教材調査会（小学校）の実施、学校用教材の採用促進のための広報活動の充実、日本教材学会との連携、教育行政の動向への対応や働きかけについて推進していくことを確認した。

○小・中学部会、出版社代表者会議も開催

総会前に、新年度第1回小・中学部会、出版社代表者会議を開き、日図協役員体制について意見交換した。なお、小学部会の正副部会長を次の通り選出し、中学部会については次回の会議で選任することとした。

【小学部会】

部会長…高橋直樹日本標準社長
副部会長…水谷泰三文溪堂社長



日本図書教材協会 総会

* * *

9月17日 日中学校編集部長会を開催

中学校編集部長会（幹事長・末吉愛典正進社中学編集部部长）では、第5回部長会を「協会会議室」で開いた。

会議では、教著協との協議、共同許諾申請業務、デジタルサービスの著作権管理、教育行政の動向や今後の在り方、教材の複製や公衆送信に関する問い合わせへの対応、広報活動、校務支援・採点支援システムへの対応、転売対策、



上：中学校編集部長会
下：小学校編集部長会

日本教材学会との連携等について状況確認と検討を行った。

10月1日

日小学校編集部長会を開催

小学校編集部長会では、第1回部長会を「協会会議室」で開いた。

会議では、まずはじめに正副幹事長の選任を行い、幹事長に日本標準・矢田恵理子取締役企画編集部マネージャー、副幹事長に文溪堂・大前智宏編集部長を選任した。そのほか、教著協との協議、共同許諾申請業務、学校教材調査会事業、教育行政の動向や教材の在り方、教材の複製や公衆送信に関する問い合わせへの対応、広報活動、校務支援・採点支援システムへの対応、日本教材学会との連携等について状況確認と検討を行った。

全通常総会、協会長会議等を開催

学校用教材の採用促進のための活動など

2025年度の主な事業として9項目を承認

一般社団法人全国図書教材協議会（細谷美明会長）では、オンラインを併用して「東京ガーデンパレス」で、9月25日に運営委員会、幹事会、出版社代表者会議、第19回通常総会を、翌26日に協会長会議を開き、2024年度の事業を総括するとともに、2025年度の活動方針を決定した。

○事業・決算報告

2024年度は教師向けセミナー事業の開催（近畿ブロック1件、静岡県協会1件）、教材士研修制度・基礎コース講座の運用、学校とのFAXでのやり取りの慣行の見直しを受



全国図書教材協議会 総会

けた対応検討（学校現場の現状や課題の情報収集、FAXの代替となる当面の対応事例の共有、学校からの注文システムの開発検討等）、販売管理システム「全販システム」の開発と運用、文科省との連携や有識者会議への参画、対外宣伝活動（協会ホームページのリニューアル、PTA団体との連携等）、学校用教材の採用促進のための活動（学校における教材採用に関する要望書の教育委員会への送付、一斉採用の重要性に関する方針を示した文書の作成と対外的な発信等）、ブロック小・中学部会長会議の取り組み（教育現場のICT化への対応、自治体等による教師用書の取り扱いに関する情報共有等）、販売店向け各種制度（生命共済、総合補償、福利厚生）の実施、各ブロック及び協会事業への協力等が主な活動となり、そのほかの事業も計画通り進められた。

○事業計画・予算

2025年度は、前年度の事業計画を踏襲しつつ、主な事業として次の9項目を推進してい

長年の信頼… とうほう の資料集!!

ニューススタイル

ビジュアル地理

別売「白地図作業帳」

教師用ウェブサービス付

豊富な写真&ワークで知識を定着

みつめよう?と!

歴史資料

教師用ウェブサービス付

「問い」をスタートに、生徒が主体的に学べる構成

ビジュアル公民

教師用ウェブサービス付

定番からユニークなものまで! 資料完備の決定版

東京法令出版 監製

〒380-8688 長野市南千歳町 1005 *Tel 026-224-5411 *Fax 026-224-5419 *https://toho.tokyo-horei.co.jp/

くことを承認した。

① 会員並びに従業員の知識及び質的向上のための研究と研修

② 教育のICT化に対応して協会として取り組むべき課題の整理と対策

③ 学校用教材の採用促進のための活動

④ PTA団体との連携

⑤ 会員販売店向け販売管理システム「全販システム」の運用と改善、加入促進

⑥ 学校用教材のインターネット等を経由した転売行為への対策

⑦ 教師等を対象としたセミナーやイベントの開催への支援

⑧ 日本教材学会との連携と、活動への積極的な参加

⑨ 小・中学業界の諸課題の協議を踏まえた各種取り組みの推進

○役員改選

今年度は役員任期期間だが、出版社代表者の交替に伴う役員改選を行った（5ページ参照）。

◇幹事会

ブロック代表者で構成する幹事会では、各事業の進捗状況の確認のほか、ブロッ



幹事会

ク助成金の分配の承認、協会長会議の運営方針の検討、学校からの注文システムの開発について協議した。

◇運営委員会

運営委員会では、総会の進行や担当理事からの主な事業の報告内容、2025年度主な事業の具体案の担当理事について確認した。

◇協会長会議

講演会と分科会の二部構成で開催した。第一部では、

全図協・渡部竜士専務理事による「教育行政の動向とこれからの私たちの取り組み」と題した講演会、第二部では5つのテーマ毎にわかれて分科会を行った。

【分科会テーマ】

- ・ブロック・協会運営
- ・小規模校対策
- ・教師用の取り扱い
- ・研修会の企画運営
- ・協会運営のための次世代育成
- ・自治体・教委・議員への働きかけ



協会長会議（第一部）

2026年度 中学3年生用

新学社の進学教材

最新入試問題を出題！

新研究シリーズ

進学教材の決定版！



スタディプロジェクト

豊富なラインアップで個別最適な学びに対応！



手びきの解説も
習熟度別でより
わかりやすく！

中学セミナー

学習習慣作りから実力アップ。
1日1枚で中学3年間の学習を
完全フォロー。

問題・解説が
1対1で対応！
自学自習に最適！



充実の デジタル
サポートツール



デジタルブック
デジタル暗記カード



単元別・習熟度別
デジタルドリル



動画解説

一般社団法人全国図書教材協議会 2025 年度役員名簿

(敬称略)

役 職	氏 名	摘 要
会 長 (代表理事)	細 谷 美 明	元全日本中学校長会会長
副 会 長 (代表理事)	川 上 忠 男	東 海ブロック (静岡県協会会長)
〃	金 井 肇	株式会社正進社代表取締役社長
専務理事 (理 事)	渡 部 竜 士	兼事務局長
常任理事 (理 事)	狩 野 正 樹	北関東ブロック (群馬県協会会長)
〃	向 畑 勇 一	近 畿ブロック (大阪府小学協会会長)
〃	中 井 寛	九 州ブロック (長崎県協会会長)
〃	池 上 佳 嗣	株式会社五ツ木書房代表取締役社長
〃	則 岡 秀 卓	株式会社図書文化社代表取締役社長
〃	高 橋 直 樹	株式会社日本標準代表取締役社長
理 事	山 城 晋 一	北海道ブロック (北海道協会会長)
〃	其 田 繁	東 北ブロック (青森県協会会長)
〃	依 田 誠	南関東ブロック (東京都中学協会会長)
〃	清 沢 伸 之	北信越ブロック (富山県協会会長)
〃	松 岡 幹	中 国ブロック (岡山県協会会長)
〃	井 上 哲 也	四 国ブロック (徳島県協会会長)
〃	村 上 洋 平	青葉出版株式会社代表取締役社長
〃	児 玉 紳	株式会社学宝社代表取締役社長
〃	森 達 也	株式会社教育同人社代表取締役社長
〃	長谷川知彦	株式会社光文書院代表取締役社長
〃	佐々木秀樹	株式会社秀学社代表取締役社長
〃	藤 田 毅 志	株式会社新学社取締役副社長
〃	星 沢 卓 也	東京法令出版株式会社代表取締役社長
〃	浜 島 拓 央	株式会社浜島書店代表取締役社長
監 事	宮 台 賢 一 郎	神奈川県中学図書教材協会会長
〃	水 谷 泰 三	株式会社文溪堂代表取締役社長



協会長会議 (分科会)

※ 2024 年度事業報告・2025 年度事業計画の概要は 247 号で掲載予定のほか、詳しい事業報告・計画、予算、決算は、協会ホームページ (<https://nit.or.jp>) に掲載しています。

開講中!

教材士研修制度 基礎コース講座

今年度も 8 月 1 日より会員販売店と加盟出版社を対象に実施しています。講座の追加などリニューアルを行い、全会員向けの無料講座 (特別講座) の開講も予定しています。

講座内容の詳細、受講のお申込みは協会ホームページよりお願いします。

自然としっかり英語力が身につけていく

教材活用シリーズ 第183回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント（場面・方法）などをご紹介します。

(株)日本標準
『言えたよ 書けたよ My ABC』
シリーズ（5・6年）



(株)日本標準
教育企画編集部

1 『My ABC』シリーズで学べること

英語教材『My ABC』シリーズには、5年生向けの『My ABC』と6年生向けの『My ABC+』があります。

どちらもアルファベットの大文字・小文字から、自分のことを表現できることばまでを学ぶことができます。話したり、聞いたり、読んだりしながら、書く練習に取り組みます。子どもたちは、豊かな感覚で、アルファベットやことばを身につけていきます。

また、紙面には二次元コードが載っているのです。

いつでも練習することばの音声を確認できます。

2 スモールステップの学習展開

『My ABC』シリーズは、次に挙げる3つの段階的な構成で成り立っています。

① アルファベット・カードゲーム

ゲームで、アルファベットの音を声に出したり、作業したりすることで、無理なくアルファベットの文字の発音や形を覚えます。

ゲームには、付録のアルファベットカードを

使います。



アルファベットカードとアルファベット・カードゲームのページ（『My ABC』ゲームのやり方）

〈例〉・「ならべゲーム」→ A から Z まで、声に出しながらカードをおいていく。
・「かたづけゲーム」→ ならべたカードをクラスで順番に声に出しながら、かたづける。

② アルファベット
A から Z まで、アルファベットの名称読みや音読みを聞いたり、大文字・小文字を書く練習をしたりします。

音声については ant と apple と astronaut のように、a で始まる複数のことばを連続して聞

くことで、アルファベットがどんな音を表しているかに気づくことができます。

③ことば

「色」や「スポーツ」、「学校行事」など、ジャンル毎に、身のまわりのことばを書く練習をします。そして、各ジャンルの最後では、友だちと交流しながら、自分のことについて文で表現します。学年の終わりには、使えることばが増えていることを実感できるはずです。

また、1ページ毎にすべてのことばを書き進めるのではなく、子どもたちが自分で書いてみたいと思うものから練習するのもおすすめです。自分でことばを選ぶと、一つずつ語彙が増えていく過程を楽しみ、成長を実感しやすくなります。

①②③のステップにより、着実に力をつけていくことができます。

3 今後の英語学習の土台となる一冊

小学校高学年で教科として英語を学び始め、中学校では、その学びを広げ、深めていきます。小学校では、英語の知識だけでなく、英語への興味・関心の基礎を築く必要があります。

そのため、意欲的に学ぶ姿勢を引き出して、今後の英語学習にいかすことのできる工夫が施されています。

①なじみがあることばの練習

日常生活で使われる身近なことばを練習し

ます。それぞれのことばにはかわいらしいイラストがついていて、イメージをふくらませることがができます。日々のくらしと結びつけやすく、学習意欲が高まります。

②英語への抵抗感を和らげる工程

英語を学習し始めたばかりの子どもたちも、取り組みやすくなっています。例えば、ことば「色」のページでは、友だちの好きな色をぬる箇所があります。英語の練習ではない活動をはさむことで、英語に苦手意識をもつことを防ぎます。



ことば「色」のページ
(『My ABC』)
友だちの好きな色をぬることで、
英語への抵抗感が和らぐ。

③友だちとの楽しい交流

紙面には、自分が好きなもの、友だちが好きなもの、クラスで好きだった人が多かったものなどを書く箇所が適宜設けられています。人とコミュニケーションを取りながら、英語表現に慣れ親しんでいくことができます。



ことば「学校行事」のページ(『My ABC +』)
友だちと思い出にのこっている学校行事をたずね合い、書く。

『My ABC』シリーズを通して、子どもたちには、向上心をもって英語を学ぶ土台をつくってほしいと考えています。グローバル化が進む今、英語教育がもつ可能性はますます大きくなっています。子どもたちが学びを力に、自らの道を歩んでいくことを願っています。

都道府県協会総会報告【3】

〔①開催月日、②開催場所、③出版社(代表)と事務局などの出席者〕

※ 7～9月に開催された各都道府県協会の総会の様子を3回に分けて報告します。出席会員数は「都道府県協会の総会をふり返って(10～12ページ)でまとめて報告します。

* * * * *

◆福井県協会(玉川弦治会長)

協会規約の一部改定を承認

①8月3日、②小浜市「若杉末広亭」。

年会費の納入等に関する協会規約の一部改定を承認。デジタル教材やCBTに関する販売店向け研修会企画について検討。

◆岩手県協会(熊谷佐智夫会長)

自治体採択デジタル教材の動向について情報交換

①8月7日、②「ホテル大観」、③図書文化社・二階堂知広取締役営業部長。

新学期に自治体で採択されたデジタル教材の動向について情報交換。

◆静岡県協会(川上忠男会長)

総会後に研修会を開催

①8月7日、②静岡市「中島屋グランドホテ

ル」、③全図協・渡部竜士専務理事。小・中学部会の報告や全図協事業の取り組みを確認。

総会後に、「2025年度新学期デジタル教材の状況と結果報告および今後の対策」と題した研修会を開催し、各支部より各自治体の現状や来年度に向けた対策を発表。

◆広島県協会(箱田博司会長)

今年度も自主基準の徹底などを事業計画に

①8月8日、②広島市「広島グランドインテリジェントホテル」、③教育同人社・足立和也執行役員。

自主基準の徹底、会員や社員の研鑽並びに次世代を担う人材育成のための研修会の実施、直販システムの堅持と理解などを事業計画に。

◆鳥取県協会(田村昌三会長)

ブロックでの取り組みを報告

①8月8日、②倉吉市「倉吉シティホテル」、③光文書院・市川文彦営業グループマネージャー。

中国ブロックの取り組みについて報告。会費未納販売店への督促等の対応について検討。

◆福岡県協会(吉原賢太郎会長)

総会後に講演会を開催

①8月8日、②福岡市「八仙閣」、③全図協・渡部竜士専務理事。

小・中学部会の報告のほか、各支部からの活動報告や全図協事業を確認。

総会後に、赤坂門法律事務所・瓜生修一弁護

より良い学びができる教材づくりを
日本子どもたちのために……

ワーク・テスト・問題集・ドリル・資料集

正進社
SEISHINSHA

士による「ハラスメントについて」と題した講演会を開催。

◆大分県協会（高野哲久会長）

支部構成の再編を承認

- ① 8月8日、②大分市「ホルトホール大分」、
③東京法令出版・福岡隆昭九州支社長、全図協・
宍戸亮太事務局次長。

各支部からの活動報告や10月に予定している九州ブロック主催研修会への参加協力を要請。支部活動の活性化のために支部構成の再編を承認。

総会後に宍戸事務局次長による「教育行政の動向と全図協の取り組み」と題した講演会を開催。

◆香川県協会（熊野晃彦会長）

教材費の集金遅延の状況について情報交換

- ① 8月9日、②高松市「高松市生涯学習センター」。

教材費の集金遅延の状況について情報交換。早期代金回収のお願い文書の作成を検討。

◆岡山県協会（松岡幹会長）

総会後に講演会を開催

- ① 8月19日、②岡山市「ピュアリティまきび」、③全図協・渡部竜士専務理事。

全図協事業への協力要請のほか、業界の諸課題について情報共有。

総会後に渡部専務理事による「教育行政の動向と、これからの私たちの取り組み」と題した講演会を開催。

◆福島県協会（阿部英紀会長）

自主基準の徹底等を確認

- ① 8月20日、②郡山市「郡山ユラックス熱海」、
③日本標準・森田祐樹営業部マネージャー。

自治体採択デジタル教材や県独自のデジタル教材の動向について情報交換。自主基準の徹底や支部活動の強化を確認。

◆富山県協会（清沢伸之会長）

役員手当に関する規約を一部改定

- ① 8月20日、②富山市「ボルファートとやま」、③学宝社・南谷圭祐取締役営業部長。
役員手当に関する規約の改定を承認。

◆兵庫県協会（喜多雅吉会長）

小・中学部会を開催

- ① 8月21日、②姫路市「姫路商工会議所」、
③学宝社・南谷圭祐取締役営業部長。

教師用書の公費化の取り組みについて意見交換。小・中学部会を並行開催し、それぞれの諸課題について協議。

◆宮城県協会（高橋充会長）

協会運営の在り方について協議

- ① 8月22日、②本吉郡「南三陸ホテル観洋」。
学校現場のICT化について情報交換。会員数を増やす方策について協議し、継続検討していくことに。

◆青森県協会（其田繁会長）

早期代金支払い文書の継続実施を承認

- ① 8月23日、②八戸市「一路亭（アパホテル

本八戸内）。

早期代金支払いのお願い文書事業継続実施を承認。ブロックの活動を報告。来年度の総会に向けて周年行事の企画を協議。

◆佐賀県協会（柴田健彦会長）

業界の諸課題について情報交換

- ① 8月24日、②武雄市「ホテル春慶屋」。
各地でのキャッシュレス決済への対応や学校現場でのデジタル教材の導入状況等について情報交換。

◆北海道協会（山城晋一会長）

総会後に講演会を開催

- ① 9月6日、②札幌市「札幌サンプラザ」、
③図書文化社・二階堂知広取締役営業部長、全図協・渡部竜士専務理事。

事業計画として、読書感想文コンクール表彰への参加などを承認。

総会後には、第一部として渡部専務理事による「教育行政の動向と、これからの私たちの取り組み」、第二部として吉岡マネジメントグループ・菊池洋介氏による「採用難、人件費高騰、高齢化に直面する経営者のための実践的人事方策」と題する講演会を開催。

* * * * *

次の協会では書面開催の報告があり、事業計画・予算案などが承認されています。

▽和歌山県協会（田村洋一会長）

都道府県協会の 総会をふり返って

今年の各協会の通常総会は、7月19日の東京都(小学)を皮切りに、北海道の9月6日まで、沖縄県を除く49協会で開催された。

◆48協会で開催

通常開催は48協会で、活発な協議、意見交換が行われた。和歌山県では書面にて開催された。

◆出版社・事務局よりのべ50名が出席

各協会の総会に出版社と全図協事務局から出席した人数は、のべ50名に達する。昨年は44名であった。

また、担当出版社に出席を要請しなかったのは21協会。なお、事務局から出席したのは、北海道、秋田県、群馬県、千葉県、東京都(小学)、東京都中学、神奈川県(小学)、神奈川県中学、静岡県、三重県、長野県、滋賀県、京都府、岡山県、福岡県、熊本県、大分県の17協会である。

◆総会での主な協議事項

各協会ではここ数年來、教育DXの進展による学校現場のICT化の動向などを中心に協議している。また、全図協事業やブロック小・中学部会長会議の取り組みの周知なども行われている。

そのほかに、学校でのFAX見直しやキャッシュレス決済への対応、教師用書の取り扱い、地域社会貢献事業の実施、研修会企画、ブロッ

クの事業への協力、自主基準の再確認、協会運営などについて話し合われた。

◆講演会・研修会は14協会、一泊は5協会

総会と合わせて講演会・研修会を開いたのは次の13協会。

▽北海道：全図協・渡部竜士専務理事による「教育行政の動向と、これからの私たちの取り組み」、吉岡マネジメントグループ・菊池洋介氏による「採用難、人件費高騰、高齢化に直面する経営者のための実践的人事方策」と題した講演会、▽秋田県：全図協・穴戸亮太事務局次長による「学校用教材の市場の変化と協会活動」と題した講演会、▽群馬県：全図協・穴戸事務局次長による「教育行政の動向について」自治体採択デジタル教材による市場の変化」と題した講演会、▽埼玉県：一般財団法人総合初等教育研究所・北俊夫参与による「今後の教育業界の動向」これからの学校教育の方向性」と題した講演会、▽千葉県、三重県、長野県、滋賀県、京都府、岡山県：全図協・渡部専務理事による「教育行政の動向とこれからの私たちの取り組み」と題した講演会、▽静岡県：デジタル教材対策研修会、▽福岡県：赤坂門法律事務所・瓜生修一弁護士による「ハラスメントについて」と題した講演会、▽大分県：全図協・穴戸事務局次長による「教育行政の動向と全図協の取り組み」と題した講演会、▽鹿児島県：東京法令出版・福岡隆昭九州支社長による「業界の現状と今後の動向について」と題した講演会。

また、総会の前後に懇親会を開いたのは29協

学宝社の冬休み教材

**充実の
ラインアップ!**

全面改訂

新企画

**デジタル版
「解答と解説」**

冬の補充学習

冬の補充学習

冬のベーシック

スパイラルウィンター

がくまる

共に豊かな教育をめざす **学宝社**

〒454-0011 名古屋市中川区山王4-5-10
TEL(052)322-1171 FAX(052)332-1960

<https://www.gakuho.co.jp/>

各都道府県協会の特徴ある活動（10月20日現在）

協会名	活動内容
北海道	防犯ステッカー貼付事業実施（道教委・道警後援） 読書感想文コンクール表彰への参加 教職員名簿への広告 学校教材展示会の開催 業界の明日を考える会の開催
青森県	小・中学校あて「早期代金お支払いのお願い」文書送付
秋田県	『地販地消』チラシと地元業者からの販売強化案内文配布
山形県	
宮城県	防犯ステッカー貼付事業実施 「教材フェスティバルin宮城」の開催
福島県	防犯ステッカー貼付事業実施（県警後援） 県交通遺児奨学基金及びいのちの電話への寄付 『地販地消』チラシの配布
茨城県	地区活動の活性化のための「地域会」の開催 青年部を中心とした「いばらきの会」の開催
栃木県	若手社員親睦交流会の開催 小規模校対策支援事業の実施
群馬県	防犯ステッカー貼付事業実施 懇親ソフトボール大会の開催 県教育振興会への寄付
埼玉県	県協会ホームページの運営 防犯ステッカー添付事業実施 認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会（JCV）の活動参加 協会ホームページからの会員証発行システムの運用 小規模校対策支援事業の実施 コンプライアンス委員会の設置 親睦行事の開催
千葉県	防犯ステッカー貼付事業実施 県協会ホームページの運営 学校初任研等への参画 懇親ボウリング大会の開催 自主的な安全パトロールの実施 懇親ゴルフコンペの開催
東京都	新学期用見本箱の助成 協会員向け研修会の開催 親睦行事の開催
東京都中	出版社を交えての新年会の開催 協会ホームページの運営
神奈川県	防犯ステッカー貼付事業実施
神奈川県中	
山梨県	山梨みどり奨学会への寄付
静岡県	会員向け研修会の開催
愛知県	防犯ステッカー貼付事業実施 NPO法人を通じての世界の子どもたちへの文房具等の物品提供事業 青年の会活動
岐阜県	「県協会活動」の紹介と配布
三重県	2年に一度、社員を対象にした研修会の開催
長野県	会員向けメーリングリストの運用 防犯ステッカー貼付事業実施（県教委・県警後援） 代金早期支払い及び複写複製禁止文書の配布
新潟県	定期総会のほかに新年総会の開催
富山県	防犯ステッカー貼付事業実施（県警後援）
石川県	防犯ステッカー貼付事業実施（県教委・県警と協力）
福井県	防犯ステッカー貼付事業実施（県教委・県警と協力） 協会員共通名札作成
滋賀県	滋賀県オリジナルReCo活動の実施
京都府	防犯ステッカー貼付事業実施 京都府PTA協議会主催「親と子の三行詩カレンダー」への京都府図書教材協会会長賞の授与 京都府PTA協議会研究大会へのブース出展 協会員共通名札（従業員も含めて）の作成、配布
奈良県	
大阪府	防犯ステッカー貼付事業実施 図書教材展示会の開催
大阪府中	出版社協会員合同の新年会の実施 協会員有志による年1回の親睦会の実施 協会主催による教科書改訂期の出版社合同商品説明会の実施 防犯ステッカー貼付事業実施
和歌山県	
兵庫県	
岡山県	
広島県	防犯ステッカー貼付事業実施 教師のタマゴ向けセミナーの開催 ICT情報化コーディネータ3級研修会の開催 県協会要覧の作成 facebookを活用した県協会のホームページと会員グループページの運営 新学期情報交換会の開催 若手社員交流会の開催
鳥取県	
島根県	
山口県	「教材フェスティバルin山口」の開催 小規模校対策事業
香川県	防犯ステッカー貼付事業実施 著作権啓発運動（著作権Q&Aパンフレット全校無料配布・著作権講習会の開催等）
徳島県	
愛媛県	防犯ステッカー貼付事業実施（県教委・県警後援） 公平採択文書の送付
高知県	
福岡県	防犯ステッカー貼付事業実施 経営研修会の開催 日図協加盟在福出版社との意見交換会 著作権啓発運動（コピー防止ポスター配布）
佐賀県	
長崎県	日図協加盟中学出版社合同説明会の開催 著作権啓発シールの見本への貼付運動
熊本県	
大分県	
宮崎県	著作権啓発運動（コピー防止ポスターの配布）
鹿児島県	研修会「未来にはばたけ」の開催
沖縄県	

会で、このうち一泊懇親会は5協会（青森県、岩手県、宮城県、福井県、長崎県）であった。

◆会長交代は2協会

今年ほとんどの協会が2年間の役員任期期間中であるため役員改選がなかったが、東京都（小学）、熊本県では会長の交代があった。

【各都道府県協会の特徴ある活動について】

◎会員のスキルアップや会員間の親睦事業を行っている主な協会

▽茨城県：「地域会」の開催や青年部の活動、

▽群馬県：親睦ソフトボール大会、▽埼玉県：親睦行事の開催、▽千葉県：懇親ボウリング大会、千葉の教育を語る会及びゴルフコンペ、▽東京都（小学）：親睦行事の開催、▽東京都中学：出版社との合同新年会、▽静岡県：会員向け研修会、▽愛知県：青年の会活動、▽三重県：社員向け研修会、▽大阪府中学：出版社との合同新年会や青年部の活動、▽広島県：若手社員交流会、▽福岡県：経営研修会。

◎対外宣伝、社会貢献の一環として、教委など、関連団体との連携事業を行っている主な協会

▽北海道：読書感想文コンクール表彰への参加、▽福島県：県交通遺児奨学基金及びいのちの電話への寄付、▽群馬県：県教育振興会への寄付、▽埼玉県：JCVへの支援や埼玉県PTA連合会事業との連携、▽山梨県：山梨みどり奨学会への寄付、▽愛知県：世界の子どもたちへの文房具等の物品提供、▽京都府：京都府PTA協議会との連携、▽広島県：教師のタマゴ向けセミナー、▽山口県：教材フェスティバル、▽香川県：著作権啓発運動、▽福岡県：著作権啓発運動、▽長崎県：著作権啓発シールの見本への貼付運動。

2025 年度都道府県協会総会 出席状況一覧

(円)

協会名	会員数 (名)	委任含めた 出席者数 (名)	率 (%)	実質出席 者数(名)	率 (%)	協会名	会員数 (名)	委任含めた 出席者数 (名)	率 (%)	実質出席 者数(名)	率 (%)
北海道	38	38	100	16	42	滋賀	13	13	100	8	62
青森	24	22	92	8	33	京都	22	22	100	18	82
岩手	19	19	100	12	63	奈良	11	10	91	7	64
秋田	16	16	100	10	63	大阪小	37	36	97	23	62
山形	20	20	100	18	90	大阪中	15	15	100	14	93
宮城	11	11	100	10	91	和歌山	18	書面開催			
福島	21	21	100	17	81	兵庫	60	57	95	38	63
茨城	39	39	100	15	38	岡山	24	24	100	14	58
栃木	31	30	97	22	71	広島	35	35	100	17	49
群馬	28	28	100	21	75	鳥取	10	10	100	7	70
埼玉	56	55	98	35	63	島根	17	17	100	9	53
千葉	51	46	90	23	45	山口	11	11	100	10	91
東京	54	52	96	34	63	香川	14	14	100	6	43
東京中	17	17	100	16	94	徳島	13	13	100	7	54
神奈川	30	30	100	17	57	愛媛	10	10	100	8	80
神奈川中	13	13	100	6	46	高知	9	9	100	9	100
山梨	15	15	100	11	73	福岡	57	57	100	34	60
静岡	18	18	100	8	44	佐賀	19	17	89	11	58
愛知	50	50	100	47	94	長崎	25	25	100	11	44
岐阜	23	21	91	15	65	熊本	45	44	98	25	56
三重	17	17	100	12	71	大分	22	19	86	16	73
長野	18	18	100	14	78	宮崎	23	20	87	14	61
新潟	29	26	90	23	79	鹿児島	37	35	95	13	35
富山	14	14	100	12	86	沖縄	5	—	—	—	—
石川	20	20	100	10	50	計	1,236	—	—	—	—
福井	12	12	100	7	58						

編集後記

デジタル教科書が正式な教科書として2030年度にも導入される見通しとなりました。

情報化社会のなかで、現代の子どもたちは日常的に当たり前のようにデジタル機器を使っています。そして、子どもたちの教育の基礎となる教科書も本格的にデジタルが導入されます。

この流れのなかで、今一度ネットリテラシーについて学習する機会が必要ではないでしょうか。文部科学省でも「情報モラル学習サイト」という、子どもが情報モラルについて学べるサイトを作っています。このようなサイトを利用しながら、学校や家庭でインターネットの使い方について話し合う機会を改めて設けることも重要だと思います。

(サ)

Ⅱ 都道府県協会 会員だよりⅡ

☆代表者・商号・住所変更のあった会員☆
へ代表者変更へ

神奈川県（小学）

…イチムラ図書教材（茅ヶ崎市）

新代表・市村眞紀子

山梨県…（株）山紫堂（甲府市）

新代表・望月佑一

宮崎県… 合同会社学優社（日南市）

新代表・上田修平

☆退会社☆

兵庫県…（株）川上商店（神戸市）